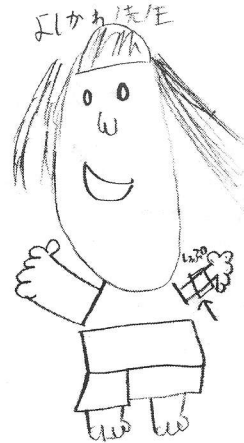


新任職員紹介

思います。

(吉川)



私が職員になり、一年が過ぎました。私は職員になる前より実習やアルバイトで通わせていただいたのですが、仕事の内容や、子ども一人ひとりについて等、始めは知らないことの多さに不安を感じるばかりでした。そして、始めの頃はアルバイトと職員という立場の切り替えが難しく、先輩職員の方と子どもとの態度の違いにも不安や苛立ちを感じることも多々ありました。しかし、一年が経ち、今は焦らず自分の出来ることをやっていこうと思っています。そして何よりも、子ども達と遊ぶ時間を作れるように心掛けています。普段は子ども達の悪い所、出来ていない所にばかり目がいってしまいがちですが、遊びの中で子ども達が見せるほっとする優しさや笑顔には、心が温まります。私自身まだまだ人として未熟で、子ども達に何を伝えたいのか何が正しいのかわからず手探りの状態ですが、子どもと共に成長していきたいと思えます。仕事の中で辛いと思う事もありますが、子ども達に元気をもらい、これからも頑張っていきたいと

くるみの家の職員となり、あつという間に二年が経ちました。この二年を振り返ってみると、分からない事ばかりで、迷惑をかけたばなしの私に優しく教えて下さる先輩職員の方々、子ども達にも日々支えられ、助けてもらう事がたくさんありました。新任職員の私の注意を聞かない小学生に中高生が注意してくれたり、料理のお手伝いをしてくれたり、私を笑わせようとしてくれたりと、助けてもらってばかりで私は自分の事で精一杯だった様になります。

先輩職員の方々には、掃除をする事の意味や、料理の作り方、子ども達との関わり方など二つ二つ丁寧にご指導していただき事で、少しず

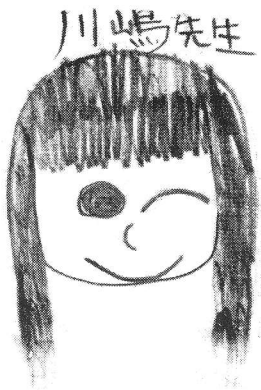
つ不安を減らす事が出来ました。本日に一日二日が大切に毎日が新しい発見の連続でした。

時間が経つにつれ、子ども達とぶつかったりする事もありましたが、その分色々な面を見る事が出来ました。

職員としても人間としてもまだまだ未熟な状態で、ご迷惑をおかけするかもしれませんが自分は何が出来たのかを日々考え、子ども達と本気で向き合い共に成長できるように精一杯頑張りたいと思います。

そして助けてもらった分、それ以上になんかでも子ども達に何かを残せるよう努力していきたいと思えます。

(川嶋)



苦情申し出窓口について

当法人では、子どもたちが明るく伸び伸びと安心感を持って生活ができる環境づくりのために、意見や苦情にこじられるよう体制を整えております。

第三者委員・苦情解決責任者・苦情受付担当者は、左記のとおりです。

(第三者委員)

大阪大谷大学 農野 寛治氏  
弁護士 真継 寛子氏

【清心寮・くるみの家】

(苦情解決責任者) 阪本 博寿  
施設長

(苦情受付担当者) 三好 眞由美  
主任保育士 木村 邦子

家庭支援専門相談員 西川 雅也

【ホームそらまめ】

(苦情解決責任者) 藤川 栄治  
ホーム長

(苦情受付担当者) 原るのみ子  
主任保育士

平成二十二年度報告

【清心寮】○年上の子が勝手に部屋に入ってくるのをやめてほしい。○年上の子がちよつかいをかけてくるのをやめてほしい。(対応)●子ども全体に対し、「人が嫌がることはしない」「他の子ども部屋に勝手に入らない」旨を伝える。●その後、随時個別に対応し、子ども間のトラブルの予防を図った。

くるみの家・ホームそらまめでは、苦情件数はありませんでした。

(苦情受付担当者)